

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地中熱利用システム普及促進プロジェクト
事業主体 (連絡先)	諏訪市 (諏訪市市民部生活環境課環境保全自然エネルギー推進係)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,137,880円 (うち支援金: 2,543,000円)

事業内容

今年度は、講演会を3回、諏訪市美術館地中熱利用冷暖房システム見学会を1回、勉強会を2回開催し、市民及び市内事業者への地中熱利用の理解促進、普及啓発活動を行った。見学会では、実際に施設を体感していただき、施工業者からの説明・質疑応答の場を設けた。勉強会としては、市が一部補助を行い、展示会及びNPO法人企画の講座に市民や市内事業者の参加を促し、地中熱の普及啓発と技術向上を図った。



【美術館見学会】

また、市内平坦地の地中熱賦存量マップ作成、市ホームページにて公開。公開後、事業者や市民に向けてマップ説明会を開催する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①講演会73名、見学会24名が参加し、目標達成率約60%。勉強会14名が参加し、目標達成率35%。参加者の理解向上・普及啓発について、一定の効果を得られたが、参加者への周知方法など課題も明らかになった。

②地中熱賦存量マップ作成により、大凡の採熱可能量を把握することが可能になった。システム導入機器の選定及びボアホールの長さの検討にも活用が期待できる。初期費用の低減や環境に適した地中熱利用の設計、システム効率の向上に大いに役立てることができるため、地中熱利用システムの課題の1つである、導入コスト削減に寄与することができる。

【目標・ねらい】

- ① 再生可能エネルギーの理解深め、当市の特色である温泉熱・地中熱エネルギーの活用促進を図る。
- ② 地中熱賦存量マップの作成により、市民による地中熱エネルギーの活用可能性を検討するための基礎データを得る。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・今後も継続して、講演会等を実施し、地中熱の理解向上、普及啓発活動を行っていきたい。実施にあたっては、参加者アンケート、質疑応答の時間を設けるなど、市民ニーズを取り入れながら、より多くの市民参加を促していく。

・地中熱賦存量マップについては、市ホームページにて公開するとともに、マップ説明会を4月に開催予定。地中熱マップの活用を市民・事業者の地中熱エネルギー導入の一助としていく。

※自己評価【 B 】

【理由】

広く市民の意識改革を促進していくには、周知・情報発信の方法について改善が必要であると感じられたため。

また、市民の実践行動をサポートする方法の検討が必要と感じられたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある